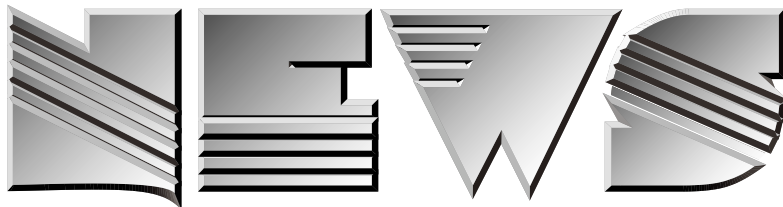




ねこだすけ
ねこだすけ



号外

vol.32

Neko-Dasuke <http://www.nekodasuke.net>

NPO ねこだすけ 〒160-0015 東京都新宿区大京町5-15-203 Tel.&Fax.03-3350-6440

新宿区内の猫 手術数と引取数の推移

平成年度	区の助成による猫の去勢・不妊手術					区内から東京都動物愛護相談センターへの引取数			
	手術計	飼い猫オス	飼い猫メス	野良猫オス	野良猫メス	成猫	子猫	引取数	
13	453	138	315	平成16年度までは、飼い猫と野良猫の区別をしていないので、飼い猫に算入。		37	278	315	
14	454	136	318		26	185	211		
15	513	173	340		29	200	229		
16	578	106	99		109	264	22	157	179
17	864	48	72		215	529	28	60	88
18	1088	50	72		233	733	17	80	97
19	1140	65	78		343	654	27	67	94
20	1112	73	88		268	683	19	37	56
21	1004	64	66		258	616	30	31	61
22	1099	61	62		230	746	12	17	29
23	1209	48	44	230	887	8	22	30	
24									

引取数ゼロが目標です。

平成13年に、官民協働の第一回新宿にゃんにゃんセミナー（地域猫対策セミナー）が始めて開かれました。その後、同区では年に一度の開催を続けています。地域猫対策十年で、猫の引取数が十分の一以下になりました。

地域ねこ対策 行事計画



第2回にゃんにゃんセミナー 平成25年3月2日、国分寺市で開催。以前は地域猫対策に消極的な行政も多かったようですが、例えばプロデューサーとかコーディネーターに似た役割を、地域猫対策のボランティアリーダーが担えるとき、行政主催や官民共催の地域猫講座が具体化に進むように思われます。

官民ボランティア三者協働を積極的にはかろうとする際に、さまざまな仕組みも試みられているようです。今回は、従来からの国立地域猫の会「猫のゆりかご」が、国分寺地域猫の会を新たに主宰し、管轄行政と共催しながら、地域猫対策をすすめるねこだすけが協力にあたる仕組みでした。



えひめイヌ・ネコの会 平成25年2月22日、にゃんにゃんにゃんの日から3日間連続イベントの最終24日に、地域猫セミナー「地域猫ってなあに？」が開かれました。（上の写真）決して狭い会場ではないのですが、椅子とテーブルが足りなくなりました。

認定NPOえひめイヌ・ネコの会が主催し、新宿区保健所衛生課高木優治氏とNPOねこだすけ代表工藤久美子が講師に招かれました。

20年以上の経験を積む主催者のもと、近県からの参加者も見受けられました。会場の中だけにとどまらず、普段はお目にかかる機会の少ないボランティアさんやリーダーの方々と、さまざまな立場からのお話はずみしました。

活気溢れる皆さまとの時間はあっという間に過ぎますが、御意見や情報を交わせるセミナーは、地域猫対策活動をすすめるに際して、ほどよい巡り合いの機会と思うのです。

地元ケーブルテレビの取材もあり、その日の夜には放映されていました。

（行事計画は裏面へ続く）

地域ねこ対策・行事予定

ねこだすけがお手伝いや参加させていただく行事
2013年 平成25年

- 3月10日 港区・まちの猫セミナー
- 3月17日 中野区・地域ねこセミナー
- 4月20日 習志野市・地域猫セミナー（仮称・予定）
- 5月12日 沼津市・地域猫セミナー in めまづ

その他、詳しくは... [ねこだすけ 行事](#)

のらねこハンドブック 小さな命を守るために上梓のご案内をいただきました。推薦文は、山口獣医科病院山口武雄先生。「野良猫を殺処分したくない…!! 野良猫の命を守るための最善の方法を、分かりやすく具体的に解説します。」（左の写真）



著者 / タマラ・クルーズ
監訳 / 田村博昭（ときわだいら動物病院院長）
翻訳 / TAMS 動物病院グループ
発行所 / 緑書房
定価 / 本体1,500円（税別）

所沢市・飼い主のいない猫セミナー 平成25年2月16日、所沢市環境クリーン部が主催し、「所沢ねこのネットワーク」と「NPOねこだすけ」が「協力」を分担しました。（下の写真）

講師の練馬区保健所地域猫対策担当石森職員は所沢市在住で、居住地域の「地域猫対策」を自らが主体になって実行した体験の持ち主ですから、活動事例報告が際立ちます。

また同じく講師のチームSLP代表田矢さんは、主に世田谷区が拠点ですが、今は同市の住民となったねこのネットワーク代表齊藤さんも、同区内などで十数年も以前から地域猫対策を続けられていました。

「地域猫について」の講演をねこだすけ代表工藤が勤め、ご記入いただいた質問票にそれぞれの講師や同市の担当職員が答えました。回を重ねるごとに参加者が増え、今回は会場内立ち見の方も・・・

際に関わっている方が35%でした。「このセミナーを他の人にも教えたい」「このような大きなセミナーに正直びっくり」「自分のできることを、これからはもっと積極的に行う」…、などの感想も届きました。下の写真は「みたか123」代表牧野さんの御報告。新宿区保健所高木さんとねこだすけ代表工藤が講師を勤めました。

第二回三鷹地域猫セミナー 平成24年12月8日「みたか123」の主催で開かれました。

いつのセミナーでも同じですが、開会前には何かそわそわと、すごく緊張した面持ちの参加者さんが必ずいらっしゃいます。しかし当日のアンケートにもあるように、地域猫対策の思いが直接的に伝えられたためか、帰り際には晴れやかな笑顔でご挨拶を交わす方々が大勢です。次の三回目、四回目に期待がふくらみます。

スタッフも含めた参加総数は約50名とのことでした。